

原子力安全対策等特別委員会

避難計画が作れないのなら、原発は動かすな

7月1日の原子力安全対策等特別委員会で、まつざき県議は、9市町が策定した避難計画について、問題や課題が山積していることを指摘しました。また、伊藤知事が10キロ以遠の要援護者の避難計画について「作らない」と発言したことを批判。「残された要援護者を誰が介護するのか。」とただし、「全住民が安全に避難できる計画ができないのなら、再稼働すべきでない。」と主張しました。

火山対策が取られていない。再稼働はやめよ。

九州電力が、火山の破局的噴火について「少なくとも数十年以上前に兆候を検知できる。」としていることについて、まつざき県議は、火山噴火予知連絡会の藤井敏嗣会長など多くの火山学者が破局的噴火の前兆をとらえることは不可能だと指摘していることに触れ、「安全性を確保するというのが、楽観的な見通しのもとの脆弱な安全性だ。」と批判し、川内原発の再稼働を行わないことを強く求めました。

議案等に対する各会派の態度

6月議会に提案された議案のうち、まつざき県議は、12件に賛成し、2件に反対しました。その中の主な議案と、主な陳情や意見書に対しての各会派の態度は、下記のようにになりました。

- 可決・採択すべき
- × 否決・不採択すべき
- ▲ 継続審査すべき

議案・陳情・意見書		共産党	自民党	県民連合	公明党	無所属A	無所属B	無所属C	採決結果
議案	消費税増税に伴う地方税法改正にもつぎ、地方自治体間の税収格差の是正のために、地方法人税を創設に伴う県民税法人割税の税率の条例改正	×	●	●	●	●	●	●	可決
	初期登録から13年を経過するガソリン車と11年を経過するディーゼル車の自動車税を標準課税額から15%重く課税する条例改正	×	●	●	●	●	●	●	可決
陳情	複式学級の解消や少人数学級の推進などを求める3件の陳情	●	×	●	▲	×	×	×	不採択



6月議会開会日の県庁前集会に参加し、挨拶する。(6月13日 県庁前)



笠井亮日本共産党衆議院議員、党福島県議団とともに、福島第1原発の現地調査を行う。(5月19日 福島第1原発)



九州電力本社に対して、川内原発を再稼働しないよう要請する。(6月3日 九州電力本社)



川内原発再稼働反対の署名活動に参加する。(6月6日 天文館)



規制庁に対して、井上勝博薩摩川内市議と共に原発を再稼働しないことを要請する。(4月28日 東京都)



集团的自衛権行使容認の閣議決定に抗議する集会で発言(7月1日 鹿児島中央駅東口広場)



メーデーに参加し、あいさつ(5月1日 天文館公園)



核兵器廃絶の国民平和行進に参加して歩く。(6月11日 鹿児島市)